## Adobe Reader 11、Adobe Acrobat Reader DC JCAN 証明書を正常に検証するための設定方法

一般財団法人日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)

※画面は Adobe Reader11 ですが、Adobe Acrobat Reader DC も同様の設定方法です。

1. 「編集」 → 「環境設定」



## 2. 「署名」 → 検証「詳細」

環境設定	TANK BUT	
<ul> <li>分類(G):</li> <li>ページ表示         一般         注釈</li></ul>	電子署名 作成と表示方法 ・署名作成のオプションを制御 ・文書内での署名の表示方法を設定	詳細
	検証 ・署名の検証に使用する時刻と方法を制御	詳細
	ID と信頼済み証明書 ・署名に使用する ID を作成および管理 ・文書を信頼するために使用されたクレデンシャルを管理	詳細
マルチメディアの信頼性(従来形式) ものさし (2D) ものさし (3D) ものさし (地図情報) ユーザー情報	<ul> <li>文書のタイムスタンプ</li> <li>・タイムスタンプサーバーを設定</li> </ul>	〔 詳細
レビュー 検索 =		
电ナメールアカウント 読み上げ ▼		ОК <i><b>キャンセル</b></i>

3. 「Windows 統合」項目の「署名を検証」と「証明済み文書を検証」にチェック → OK

署名検証の環境設定	x		
<ul> <li>✓ 文書を開くときに署名を検証</li> <li>○ 有効であるが信頼していない署名が文書にある場合、署名者を確認して信頼性を設定</li> </ul>			
<ul> <li>◎ 文書で指定された方法を使用。使用できない場合は確認メッセージを表示(U)</li> <li>◎ 文書で指定された方法を使用。使用できない場合はデフォルトの方法を使用(D)</li> </ul>			
◎ 常にデフォルトの方法を使用(W): Adobe デフォルトセキュリテ マ			
<ul> <li>▼署名検証の際に証明書の失効確認が成功することを要求(R)</li> <li>□ 文書の検証情報を無視(I)</li> </ul>			
検証時刻 署名の検証に使用する時刻:			
● 署名か作成された時刻(1) ◎ 署名に埋め込まれた保証された時刻(タイムスタンプ)(5)			
<ul> <li>○ 目 (1) = 10 = 10 = 10 = 10 = 10 = 10 = 10 =</li></ul>			
✓ 期限切れのタイムスタンプを使用(E)			
署名済み PDF を保存時に自動的に検証情報を追加:			
◎ 検証情報が大きすぎる場合に確認			
◎ 行われい			
	-1		
Windows 和音 以下の操作について、Windows 証明書ストアのすべてのルート証明書を信頼:			
<ul> <li>✓ 署名を検証(5)</li> <li>✓ 証明済み文書を検証(D)</li> </ul>			
これらのオプションのいずれかを選択すると、任意のマテ リアルが信頼済みのコンテンツとみなされます。これらの 機能を有効にする場合は、十分な注意が必要です。			
ヘルプ         OK         キャンセ	ZIL		

以上の操作で、JCAN 証明書が正常に検証できるようになります。

以上